

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成31年01月09日

計画の名称	温泉場地区における街なみ環境の向上													
計画の期間	平成31年度 ~ 令和05年度 (5年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	湯河原町													
計画の目標	温泉場地区の玄関口となる広場や、滞留空間及び回遊性を生み出すための広場、通路等の整備を行うとともに、歴史と伝統を誇る湯河原温泉の「温泉場」としての風情のある街なみづくりを行うことにより、湯河原温泉の歴史・文化や街歩き楽しさを味わうことのできる住環境づくりを目指します。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		406	A	406	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	-	R5末
1	万葉公園の施設の年間利用者数を63千人(H29年度実績)から73千人(R5年度末)に増加 万葉公園の施設の年間利用者数:公園内の施設(足湯施設「独歩の湯」)の利用者数を調査する。	63444人/年	人/年	73000人/年
2	万葉公園周辺駐車場利用台数を16千台(H29年度実績)から17千台(R5年度末)に増加 万葉公園周辺駐車場利用台数:万葉公園駐車場の代替えとして確保する駐車場の駐車台数を調査する。	16311台/年	台/年	17300台/年
3	事業地区内における修景整備件数を5件(R5年度末)とする。 修景整備件数:事業地区内における建築物、建築設備、広告物、外構等の修景整備件数を調査する。	0件	件	5件

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	湯河原町	直接	湯河原町	-	-	温泉場地区 街なみ環境 整備事業	地区施設整備(広場、通路)	湯河原町						362	3.75	-
	A16-002	住宅	一般	湯河原町	間接	民間	-	-	温泉場地区 街なみ環境 整備事業	修景施設整備	湯河原町						44	3.75	-
											小計						406		
											合計						406		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R02	R03	R04	
配分額 (a)	7	190	2	10	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	7	190	2	10	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	
支払済額 (e)	7	174	0	9	
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	16	2	1	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	8.42	100	10	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由			民間の修景整備に対する補助事業1件を予定していたが、予定者において、コロナ禍で事業完了見込みが立たず実施されないこととなったため。	民間の修景整備に対する補助事業であり、補助限度額3件分を想定していたが、満額に満たない案件があったため。	